

令和4年度行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	社会全体としての事業継続体制の構築推進経費			担当部局	政策統括官(防災担当)	作成責任者			
事業開始年度	平成26年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	参事官(防災計画担当)	山口 博史			
会計区分	一般会計								
根拠法令(具体的な条項も記載)	首都直下地震対策特別措置法第5条第1項			関係する計画、通知等	防災基本計画、首都直下地震緊急対策推進基本計画、政府業務継続計画(首都直下地震対策)、中央省庁・地方公共団体の業務継続計画、民間企業における事業継続計画等				
主要政策・施策	国土強靱化施策			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	本事業は、首都直下地震をはじめとする大規模災害の発生に備え、大規模災害時における国民経済及び国民生活への影響を最小化するため、官民が連携した社会全体としての事業継続体制の構築に取り組む。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	○中央省庁における業務継続体制を確保するため、中央省庁の業務継続計画に係る有識者による評価等を行う。 ○地方公共団体の業務継続体制の確保に係る取組を推進するため、地方公共団体における取組方策の調査・検討等を行うとともに、BCP策定研修会等を行う。 ○民間企業・団体の事業継続の取組を促進するため、民間企業・団体の事業継続体制に関する実態調査、BCM(事業継続マネジメント)の目的を共有化する評価指標の開発・検討、並びに事業継続に関する企業間等での連携訓練及び協定促進の検討等を行う。 ○民間企業・団体の災害リスクマネジメント力向上の促進に資する調査・検討を行う。								
実施方法	委託・請負								
予算額・執行額(単位:百万円)			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求		
	予算の状況	当初予算	32.9	33.2	23	41.7	43.1		
		補正予算	-	34.7	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	34.7	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	▲34.7	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
	計		32.9	33.2	57.7	41.7	43.1		
	執行額		38.1	37.2	30.7	-	-		
	執行率(%)		116%	112%	53%	-	-		
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		116%	55%	133%	-	-		
令和4・5年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由					
	災害関係調査費	41.7	43.1	重要政策推進枠:6					
	計	41.7	43.1						
活動内容(アクティビティ)	中央省庁を対象として、業務継続計画に係る有識者による評価等を行う。								
活動目標及び活動実績(アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込
	中央省庁の業務継続計画の課題等の把握	中央省庁の業務継続計画の評価の実施回数	活動実績	府省	21	21	26	-	-
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	契約(予算)額/評価の実施回数			単位当たりコスト	百万円	0.6	0.7	0.5	0.5
				計算式	/	12.8/21	15.0/21	14.2/26	14.6/28
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標年度	目標最終年度
	内閣府が策定した業務継続計画の評価手法等に基づく中央省庁の業務継続計画の評価実施結果のフィードバック実施率100%	中央省庁の業務継続計画の評価結果のフィードバック状況	成果実績	%	100	100	100	-	-
			目標値	%	-	-	-	-	100
			達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名(出典)	元年度:省庁業務継続計画の評価事務について(内閣府 R1.7.29) 2年度:省庁業務継続計画の評価事務について(内閣府 R2.9.23) 3年度:省庁業務継続計画の評価事務について(内閣府 R3.7.26) 根拠:首都直下地震緊急対策推進基本計画、政府業務継続計画								
活動内容(アクティビティ)	地方公共団体(首都直下地震緊急対策区域含む)を対象として、業務継続体制の確保に係る取組方策の調査・検討等を行うとともに、BCP策定研修会等を行う。								
活動目標及び	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込

活動実績 (アウトプット)	BCP策定研修会等への参加	BCP策定研修会等の実施回数	活動実績	回	5	6	11	-	-
			当初見込み	回	5	5	9	7	7
単位当たり コスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	契約(予算)額/研修会等の実施回数		単位当たり コスト	百万円	-	-	-	1.3	
			計算式	/	-	-	-	9.3/7	
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 6 年度
	首都直下地震緊急対策区域の全ての地方公共団体におけるBCP策定率100%	首都直下地震緊急対策区域の地方公共団体のBCPの策定割合	成果実績	%	94	96	97	-	-
			目標値	%	-	-	-	-	100
			達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	元年度:地方公共団体における業務継続計画策定状況の調査結果(総務省消防庁 R1.12.26) 2年度:地方公共団体における業務継続計画策定状況の調査結果(総務省消防庁 R3.2.25) 3年度:地方公共団体における業務継続計画策定状況の調査結果(総務省消防庁 R4.3.30) 目標最終年度:首都直下地震緊急対策推進基本計画								
活動内容 (アクティビティ)	地方公共団体(南海トラフ地震防災対策推進地域含む)を対象として、業務継続体制の確保に係る取組方策の調査・検討等を行うとともに、BCP策定研修会等を行う。								
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込
	BCP策定研修会等への参加	BCP策定研修会等の実施回数	活動実績	府省	5	6	11	-	-
単位当たり コスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	契約(予算)額/研修会等の実施回数		単位当たり コスト	百万円	-	-	-	1.3	
			計算式	/	-	-	-	9.3/7	
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 5 年度
	南海トラフ地震防災対策推進地域の全ての地方公共団体におけるBCP策定率100%	南海トラフ地震防災対策推進地域の地方公共団体のBCPの策定割合	成果実績	%	91	96	98	-	-
			目標値	%	-	-	-	-	100
			達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	元年度:地方公共団体における業務継続計画策定状況の調査結果(総務省消防庁 R1.12.26) 2年度:地方公共団体における業務継続計画策定状況の調査結果(総務省消防庁 R3.2.25) 3年度:地方公共団体における業務継続計画策定状況の調査結果(総務省消防庁 R4.3.30) 目標最終年度:南海トラフ地震防災対策推進基本計画								
活動内容 (アクティビティ)	民間企業・団体を対象として、事業継続体制に関する実態調査や災害リスクマネジメント力向上の促進に資する調査等を行う。								
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込
	事業継続計画の課題等の把握	調査等の実施回数	活動実績	回	2	1	2	-	-
単位当たり コスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	契約(予算)額/調査等の実施回数		単位当たり コスト	百万円	7.7	5	8	8.2	
			計算式	/	15.4/2	5.0/1	15.9/2	16.4/2	
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 7 年度
	ほぼすべての大企業がBCPを策定	大企業のBCPの策定割合(隔年調査)	成果実績	%	68.4	-	70.8	-	-
			目標値	%	-	-	-	-	100
			達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	元年度:令和元年度企業の事業継続及び防災の取組に関する実態調査 3年度:令和3年度企業の事業継続及び防災の取組に関する実態調査 3年度:災害リスクマネジメント促進に資する被災事例の調査・検討業務								

活動内容 (アクティビティ)		民間企業・団体を対象として、事業継続体制に関する実態調査や災害リスクマネジメント力向上の促進に資する調査等を行う。									
活動目標及び活動実績 (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込	
		事業継続力の把握	調査等の実施回数	活動実績	回	2	1	2	-	-	
				当初見込み	回	2	1	2	2	2	
単位当たりコスト		算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
		契約(予算)額/調査等の実施回数			単位当たりコスト	百万円	7.7	5	8	8.2	
					計算式	/	15.4/2	5.0/1	15.9/2	16.4/2	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 -年度	目標最終年度 7年度	
		50%の中堅企業がBCPを策定	中堅企業のBCPの策定割合 (隔年調査)	成果実績	%	34.4	-	40.2	-	-	
				目標値	%	-	-	-	-	50	
				達成度	%	-	-	-	-	-	
根拠として用いた統計・データ名 (出典)		元年度:令和元年度企業の事業継続及び防災の取組に関する実態調査 3年度:令和3年度企業の事業継続及び防災の取組に関する実態調査 3年度:災害リスクマネジメント促進に資する被災事例の調査・検討業務									
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載										チェック	
政策評価、 生計画との関係	政策評価	政策	政策10:防災行政の推進			政策評価書URL	https://www8.cao.go.jp/hyouka/r1hyouka/r1jigo/r1jigo-10.pdf				
	政策評価	施策	施策⑤:防災行政の総合的推進			該当箇所	P6、P7				
	生計画 2021 表	新経済・ 財政再 工程	取組事項	分野:	-	-					
				(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:	-	-					
			該当箇所	-	-						

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	首都直下地震をはじめとする大規模災害が発生しても、業務を円滑に継続するための対応方針等を定め、行政中枢機能等の維持を図ることは広く国民のニーズがある。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	政府、地方公共団体及び民間企業等を含む社会全体としての事業継続体制の構築を図ることが極めて重要であるため、国において最優先で実施すべき事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	首都直下地震をはじめとする大規模災害が発生しても、業務を円滑に継続するための対応方針等を定め、行政中枢機能等の維持を図ることは、防災行政の推進の達成のために必要であり優先度が高い。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	契約業者は1者のみの応札だったが、契約前に相見積もりを行っている。 契約業者の選定は、少額であったことから随意契約としたが、契約前に相見積もりを行っている。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	過去の調査業務実績を参考に作成した予定価格以内での落札となっており、コスト水準は妥当である。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	各種検討業務に必要な民間企業への請負経費(雑役務費)に限定されている。
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	事業内容を継続的に見直すこと等により、真に必要な費用のみを計上し、コスト削減や効率化を図っている。
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	地方公共団体においてはBCP策定率が着実に向上しており、また、民間企業のBCP策定率向上という長期的目標達成に向け、事業を推進しているところである。 中央省庁の業務継続体制については、内閣府が策定した評価手法等に基づき、有識者等による業務継続計画の評価を実施しているところであり、評価結果を踏まえ、引き続き業務継続計画の評価を実施していく。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	
活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	見込みどおり十分な活動がなされている。	
整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	既に策定されている地方公共団体、民間企業のBCPIは、大規模災害時に国民経済及び国民生活への影響を最小化するため活用されるものである。また、中央省庁の業務継続の実効性については、有識者等による評価を踏まえ向上しており、大規模災害時にその効果が発揮されている。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
	事業番号	事業名	
点検・改善結果	点検結果	<ul style="list-style-type: none"> ・中央省庁の業務継続計画について、有識者による評価等を踏まえ、継続的な見直しや検証等が行われており、引き続き事業を推進する必要がある。 ・首都直下地震緊急対策区域内及び南海トラフ地震防災対策推進地域内の市町村におけるBCP策定率については継続的な向上が見られることから、引き続き策定率向上に向け研修会を行うなど適切に事業を推進する必要がある。 ・民間企業等のBCPIについては、今後とも最新の調査データに基づき現状を把握しつつ、策定率向上に向け、適切に事業を推進するものとする。 ・また、予算執行は一般競争入札を行い競争性を確保して適正に行っている。 	
	改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標で設定している地方公共団体のBCPの策定率を調査等により把握し、向上させる必要があるため、引き続き、調査等により策定率の把握に努めるとともに、地方公共団体を対象としたBCP策定研修会の実施等に取り組む。 ・成果目標で設定している大企業・中堅企業のBCPの策定率を調査等により把握し、向上させる必要があるため、引き続き、調査等により策定率の把握に努めるとともに、実態調査を通じた普及・啓発等に取り組む。 ・また、予算執行については、引き続き競争性を確保した契約を行い、効率的な予算執行に取り組む。 	

外部有識者の所見

行政事業レビュー推進チームの所見

現 状 通 り	過去の有識者の所見も踏まえ、今後の展望について検討するとともに、引き続き、効果的・効率的な事業の実施に努める。
------------------	---

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

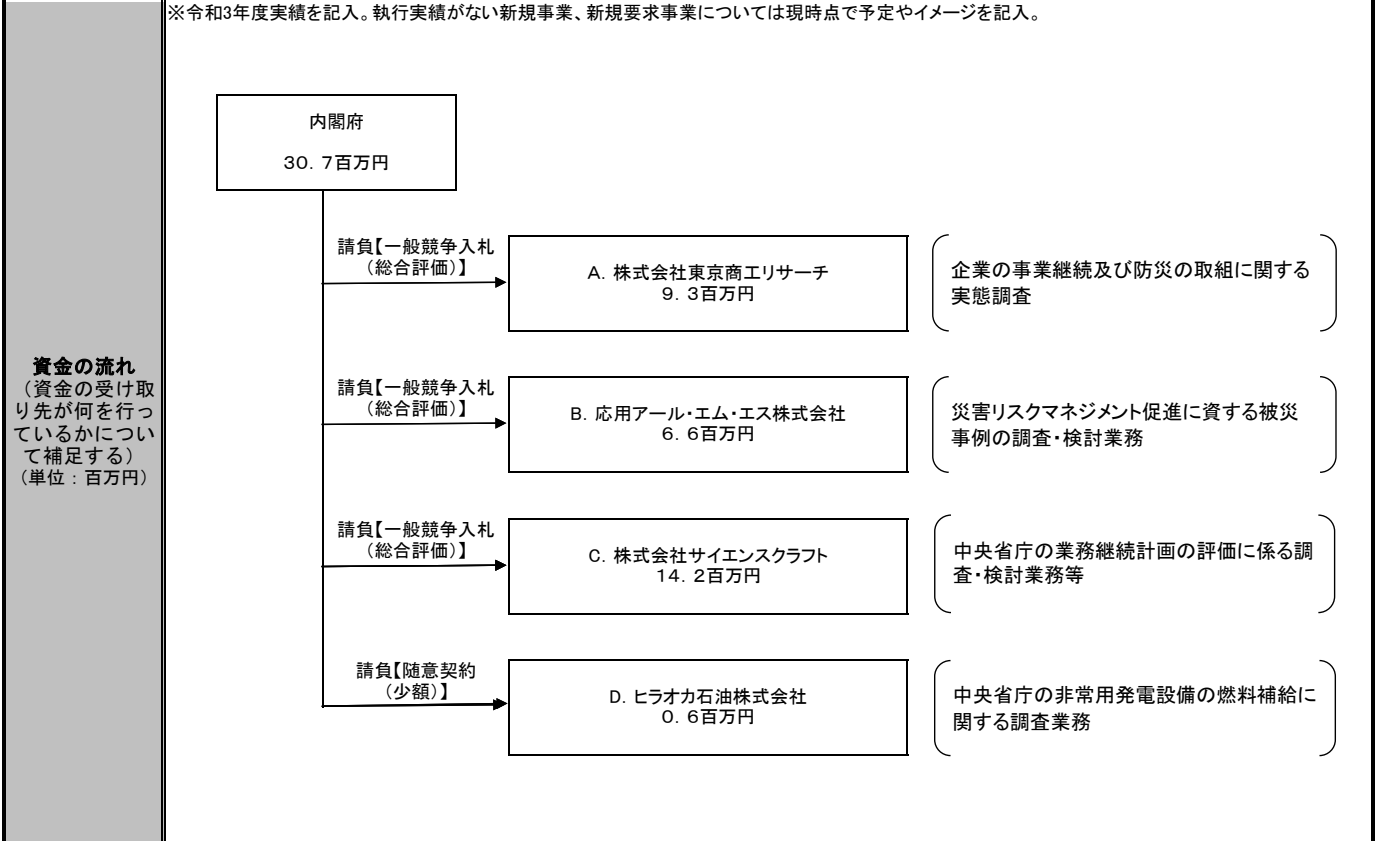
現 状 通 り	有識者の所見も踏まえ、今後の展望について検討するとともに、引き続き、効果的・効率的な事業の実施に努める。
------------------	--

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度	-			
平成24年度	0069、新24-0018			
平成25年度	新26-0002			
平成26年度	新26-0007			
平成27年度	0053			
平成28年度	0047			
平成29年度	0047			
平成30年度	0048			
令和元年度	内閣府 - 0055			
令和2年度	内閣府 0054			
令和3年度	2021 府 20 0066			

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



A.株式会社東京商工リサーチ			B.応用アール・エム・エス株式会社		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
雑役務費	企業の事業継続及び防災の取組に関する実態調査	9.3	雑役務費	災害リスクマネジメント促進に資する被災事例の調査・検討業務	6.6
計		9.3	計		6.6
C.株式会社サイエンスクラフト			D.ヒロオカ石油株式会社		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
雑役務費	中央省庁の業務継続計画の評価に係る調査・検討業務等	14.2	雑役務費	中央省庁の非常用発電設備の燃料補給に関する調査業務	0.6
計		14.2	計		0.6

費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社東京商工リサーチ	5010001134287	企業の事業継続及び防災の取組に関する実態調査	9.3	一般競争契約 (総合評価)	2	-	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	応用アール・エム・エス株式会社	9010401065574	災害リスクマネジメント促進に資する被災事例の調査・検討業務	6.6	一般競争契約 (総合評価)	2	-	

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社サイエンスクラフト	1210001011627	中央省庁の業務継続計画の評価に係る調査・検討業務等	14.2	一般競争契約 (総合評価)	1	-	

D

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	ヒラオカ石油株式会社	4120101037561	中央省庁の非常用発電設備の燃料補給に関する調査業務	0.6	随意契約 (少額)	1	-	